

平成25年10月24日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成25年度 第2回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 10月24日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成25年 第2回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成25年10月24日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F ベリタ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、会員等

### ◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

#### 1. 開会

#### 2. 部会長挨拶

#### 3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 多摩川っ子(第6号)発刊(7/9)【資料1】
- (2) 第23回・狛江古代カップ・多摩川いかだレース参加(7/14)※【資料2】
- (3) 多摩川“水”大学講座(7/19、9/20、10/18)【資料3】
- (4) 第6回・子どもカヤック体験教室開催(7/20)※【資料4】
- (5) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成25年度総会開催(7/29)【資料5】
- (6) 東急百貨店より第4回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/30)【資料6】
- (7) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/4)【資料7】
- (8) 第5回・炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/23)※【資料8】
- (9) 第1回・大人のカヤック体験教室開催(9/23)【資料9】
- (10) 第6回・美しい多摩川フォトコンテストの募集開始(10/1～12/31)【資料10】
- (11) 第6回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/19)【資料11】
- (12) 多摩川“水”大学講座(11/15)【資料3】
- (13) 第5回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11月)【資料12】
- (14) 第6回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/14)【資料13】

#### 4. 意見交換

- (1) 既存事業の見直し等について【資料14】

(「10/10 地域経済活性化部会」で議論されたこと、「美しい多摩川クリーンキャンペーン」実施場所の見直し、「多摩の物語」について、「炭焼き体験と

水辺の交流会」の今後の方向性、「多摩川子ども環境シンポジウム」の今後の方向性、その他)

(2) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成25年度第2回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(大田区 教育委員会事務局 教育総務課 庶務係 主任主事 小島 浩二 様)

小島と申します。今日は勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(小金井市 企画財政部 企画政策課 企画政策係 主事 高野 修平 様)

高野と申します。小金井市は、今年8月に行政会員として美しい多摩川フォーラムに入会させていただきました。これから色々と皆さまと一緒に活動させていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(馬場 エリカ 様)

馬場と申します。よろしくお願いいたします。

(増田 憲男 様)

増田と申します。初めてなので、どんな雰囲気なのかも含めて、楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(渡邊部会長)

今日は、台風27号が来ておりますが、足元の悪い中、平成25年度・第2回教育文化・環境清流合同部会にご出席いただき、有り難うございます。第1回目は7月に開催され、約4ヶ月が経ちました。その間、多くの事業は順調に実施され、その結果については、この後、事務局より報告があります。また、美しい多摩川フォーラムが設立7年目に入り、既存事業の見直しや新しいアイデア等、会員の皆さまの様々なご意見を伺うために、美しい多摩川フォーラムの活動に関するアンケートを実施したと

ころ、多くの意見が寄せられました。このアンケートを元に、既存事業の見直し等について意見交換を予定しておりますので、活発なご意見をお願いいたします。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

### 3. 経過報告

(事務局)

はい、前回6月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示しております。それでは、はじめに(2)番、(4)番、(8)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

#### (3) 多摩川“水”大学講座(7/19、9/20、10/18)【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。今年度は、国分寺市との共催のもと、5月17日に開講し、順調に進んでおります。講師には、当フォーラムの小倉副会長をお迎えし、講座を通じて「水環境のリーダー」の養成を目指しています。

#### (5) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成25年度総会開催(7/29)【資料5】

- ・【資料5】をご覧ください。平成25年7月29日、平成25年度総会が山形県の山形市で開催され、当フォーラムより同協議会への拠出金について、平成25年度1,900,000円が承認されました。平成25年度の活動の全体像が次ページにありますので、ご参照ください。

#### (6) 東急百貨店より第4回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/30)【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。平成25年7月30日、株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部556,772円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されましたので、ご報告致します。なお、当日は、当フォーラムのダニエル・カール副会長にもご出席いただきました。

#### (9) 第1回・大人のキャック体験教室開催(9/23)【資料9】

- ・【資料9】をご覧ください。平成25年9月23日、NPO法人青梅市カヌー協会、サンケイリビング新聞社多摩本部のご協力のもと、大人のキャック体験教室を開催しました。昨年は、農林水産省関東農政局の交付金事業の一環でテスト開催したところ、大変好評だったことを踏まえて実施されました。参加者募集の告知については、当フォーラムのホームページのほか、サンケイリビング新聞社が発行している

「リビング多摩」にもご掲載いただき、9月2日に受付を開始したところ、わずか30分で定員に達し、人気の高いイベントであることが裏付けられました。

**(11) 第6回・たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK開催 (10/19) 【資料11】**

- ・ 【資料11】をご覧ください。これは、昨年寄付金贈呈の様式です。昨年は、地元の中学生も有志で参加され、記念の第5回に花を添えました。今年は10月19日に大田区民有志により、地元の中学生ほか約80名が参加され、当フォーラム事務局も大田区丸子橋から一緒にスタートし、タスキをつなぎながらゴールの羽村市役所を目指して激走しました。

**(13) 第5回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11月) 【資料12】**

- ・ 【資料12】をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンのチラシです。第1回目は5団体からスタートし、今年度は21団体が連携団体として名を連ねています。今回、行政では、あきる野市、小金井市、民間企業では、日野自動車、カシオ計算機、大和ハウス工業が新たに参加する予定です。なお、ポスターにつきましては、A1サイズで作成し、今月中旬に各連携先に配布しました。

**(14) 第6回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/14) 【資料13】**

- ・ 【資料13】をご覧ください。今年も、新たに参加される1団体を加え、現在のところ、8団体が確定しております。最終的には、10団体を目標に、各参加団体と調整中です。経過報告は以上です。渡邊部会長、よろしく申し上げます。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告で何かご質問等がございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。

**4. 意見交換 (部会長)**

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

**(1) 既存事業の見直し等について 【資料14】**

(事務局)

- ・ 【資料14】をご覧ください。これは、今回の部会開催通知に同封させていただいたアンケート結果をまとめたものです。このアンケートは、フォーラムが設立7年目に入り、既存事業の見直しや新しいアイデア等、会員の皆様のさまざまなご意見をお伺いしたものです。今日はこのアンケート結果とともに、別添のA3の資料をご

覧いただきながら、既存事業の見直し等について意見交換したいと存じます。

- ・ 始めに、10月10日の地域経済活性化部会における意見交換会の内容についてご報告させていただきます。まず、大人のカヤック体験教室についてですが、大好評を受け、「来年度以降定例事業化してはどうか」との提案がなされ、緩やかな合意を得ました。多摩川上流におけるカヤックを広くPRし、交流人口の増加による観光振興を図っていくため、平成26年度より定例事業化を検討することとし、11月7日の運営委員会で協議させていただくことになりました。
- ・ 酒蔵街道については、これまでの議論の中で中期的な案件として位置づけてまいりました。10月10日の同部会において、「多摩川酒蔵街道」の開設について議論され、多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡りと同様、交流人口の増加による多摩地域の観光振興を図っていくため、同地域に点在する5つの酒蔵（小澤酒造株式会社、田村酒造場、石川酒造株式会社、中村酒造場、野崎酒造株式会社）を巡る観光ルート化を目指し、平成26年度に「多摩川酒蔵街道」を開設することについて緩やかな合意を得ました。なお、実施に当たっては、ワーキンググループ（座長：小澤運営委員〈小澤酒造株式会社取締役社長〉）を年内に立ち上げ、実施細目について、検討することとし、11月7日の運営委員会で協議させていただくことになりました。
- ・ 次に、多摩川レガッタの開催については、平成20年10月、電通によるフィージビリティ・スタディ（実行可能性の検証）から、実現するためには、いくつかの課題があり、短期的に実現は難しいとの結論に達し、A3の資料にあるように長期的な案件として位置づけられました。しかしながら、5年が経過し、10月10日の同部会において、「東京オリンピックを見据えて、国際レースを展望すべきである」とか、「コンパクト化を図ることも視野に入れ、実現性を高めるべきではないか」といったご意見がありました。
- ・ 最後に、JR東日本の駅から歩くウォークラリー「えきぼ」の企画協力についてですが、来年度のコース設定に、桜の札所巡りのコースを組み入れ、駅からハイキング同様、多摩川夢の桜街道をPRしていくため、JR東日本八王子支社さんと検討を進めていくことになりました。なお、ダニエル・カール副会長と歩く桜ウォーキング、「川崎・大田の桜の札所巡り」ですが、今年度は悪天候により、やむを得ず中止とさせていただきましたが、平成26年度開催についても検討しておりますので、ご報告いたします。

（渡邊部会長）

ただいまの事務局からの報告でご意見等ございましたら、お願いします。

(山崎副部長)

「酒蔵街道」は、なかなか面白い企画だと思います。私はビールも大好きなので、日本酒だけではなく、地ビールも仲間に入れたらどうでしょうか。「大人の楽しみ」として、アルコール系ならなんでもありでよいのではないのでしょうか。青梅の梅酒まで入れても良いのではないかと思います。

(事務局)

「酒蔵街道」のワーキンググループを立ち上げますので、ただいまの素晴らしい提案につきましては、そちらの中で検討してまいりたいと思います。春は「多摩川夢の桜街道」を巡っていただき、新酒の時期でもある秋は、「多摩川酒蔵街道」を巡っていただければ良いのではないかと考えております。お酒を飲んだら運転できませんので、はとバスさんとも相談させていただく予定です。

(渡邊部長)

有り難うございました。他にご意見はありますか？

(事務局)

多摩川レガッタについて、前回の部会でご発言いただいた福田様、補足がありましたらご説明をお願いいたします。

(福田様)

多摩川でボートを楽しむ会が多摩川フォーラムに入会しており、「多摩川における恒久的なボート施設の構築」ということで、何回か部会で取り上げていただきましたが、その際の結論は、「それなりの規模になるまで、単独で折衝せよ」ということでした。現在、この件で大田区と折衝しております。皆さんの後押しをいただくには、まだ少し時間が掛かると思います。

(渡邊部長)

有り難うございました。東京オリンピックが決まり、そういった国際レースを展望するべきだという意見があったことから、今後検討を進め、実現していきたいと思えます。その他、「えきぼ」についても、今後検討していくということでしょうか。

(事務局)

先日の第2回地域経済活性化部会で、JR八王子支社の担当の方にご出席いただき、ご説明いただきましたが、現在、来年度のコース設定の見直しの時期だということで、私どもとしては、「多摩川夢の桜街道」をPRするためにも、「えきぼ」のコースに「多

「多摩川夢の桜街道」を組み入れていただきたいと考えており、JRさんに相談をしております。JRさんも前向きに検討していただけるとのことなので、今後、JRさんと一緒に進めてまいりたいと思います。

(渡邊部会長)

有り難うございました。今後、期待していきたいと思います。他にご意見はありますか。なければ、次に進めます。アンケート結果によると、美しい多摩川クリーンキャンペーンの実施場所の見直しについて意見が多いようですが、事務局より説明してください。

(事務局)

青梅市御岳での清掃について、最近ゴミが少ないことから、他の場所を検討してはどうかという意見が多数寄せられております。特に、毎年8月に青梅市が主催している多摩川1万人の清掃大会には、多くのフォーラム会員が参加しており、ゴミが少ないのに多くの方が集まっているという印象をお持ちの方が多かったようです。この点につきましても、10月10日の地域経済活性化部会で意見交換され、「ゴミが少ないから場所を変えろ」という意見もあるが、ゴミのない川を維持する予防・啓発的な意味合いから、ゴミが少なくても同じ場所を継続して清掃することが大事である」とか、「例えば、京王クリーンキャンペーンの清掃会場である多摩川河川敷の多摩市一ノ宮公園周辺に会場を移して実施することを検討してはどうか」といったご意見がありました。この点を踏まえ、京王電鉄の右田様にご意見を申し上げます。

(右田様)

我々京王電鉄は、1991年より、「京王クリーンキャンペーン」という名の清掃活動を、多摩川と高尾山の2カ所で、22年続けています。多摩川においては、今年から開催日を5月下旬に変更しました。今までは11月に行っていましたが、社内で「子どもたちに何か生物多様性に関わる取り組みができないか」という意見が出て、山崎運営委員に相談し、稚アユの放流を子どもたちに体験させることになり、清掃時期を5月に変更したのです。当日は、子ども100人が参加し、1000匹の稚アユを放流しました。特に保護者の方から好評をいただきましたので、今後も5月に清掃活動と稚アユの放流を継続していきたいと考えております。

我々が5月に変更した、一ノ宮公園～交通公園までの清掃区間を、もし美しい多摩川フォーラムで11月に行うようであれば、我々の運営ノウハウを事務局にご提供することで、ご協力できるのではないかと考えております。

(事務局)

有り難うございました。御岳での清掃に毎年参加されている日本たばこ産業の中島様、ご意見いかがでしょうか。

(中島様)

弊社でも、「ひろえば街が好きになる」運動を全国的に展開しております。私自身も、昨年「美しい多摩川フォーラムクリーンキャンペーン」に参加しましたが、確かにゴミは少なかったです。前回の部会でも意見があった通り、「ゴミを拾う」という行為より、「ゴミを捨てない」という気付きを与えることができますと思いますし、継続も大事だと思いますが、違う場所でも行うという分においては、問題ないと思います。

(事務局)

有り難うございました。前回の部会でも、「御岳は、ゴミが少なくても継続することに意義がある」というご意見が多く寄せられました。一方で、上流域は河川敷が非常に狭く、そこに200名ほどの人数が集まると、安全面でも不安があるため、御岳に加えて中流域でもできないかという意見もあったため、「京王クリーンキャンペーン」で中流域の清掃活動を実施されている右田さんにご相談させていただきました。今までのお話の中で、皆様からご意見があればよろしく願いいたします。

(山崎副部長)

中・下流域での美化活動は、自治体によって温度差があります。私どもが管轄している、川崎市、多摩市、高津市は、ゴミ拾いが成立しないほどきれいです。二子玉川の「花みず木フェスティバル」でもJTさんが清掃活動を実施していますが、そこも拾うゴミがないほどきれいです。しかし、行政や団体の違いでしょうか、まだまだゴミが多いところもあります。その現実を正しく知るところから始めて、地域持ち回りで清掃活動を実施したり、ゴミが沢山落ちているところを調べる調査員を派遣したり、その年の清掃場所を決めても良いのではないのでしょうか。

(渡邊部長)

有り難うございました。ほかにご意見はありますか。ないようなので、次に進めます。「多摩の物語」の進捗状況と今後の方向性について、事務局より説明してください。

(事務局)

「多摩の物語」については、平成23年度と24年度の2年間にわたり、農林水産



省関東農政局の交付金事業として、平成25年2月に立川グランドホテルにおいて、奥多摩・青梅・あきる野の物語の完成発表会を行いました。今年度は、発表した内容を小冊子にまとめ、多摩川流域の公民館や図書館に置いてもらえるよう、作業を進めております。本来であれば、本日、平野副会長から経過報告と来年度の方向性についてご説明いただく予定でしたが、海外出張のため、平野さんのお弟子さんである冨田様よりご説明をお願いいたします。

(冨田様)

発表のおりには、皆様にお世話になり、有り難うございました。今日は、平野および代理の川井が欠席のため、代理の代理として出席させていただきました。ただいま事務局より、冊子についての説明がありましたが、来年度は、日野や府中、多摩、小金井、国立等、中流域での物語を掘り起こしていく予定です。

(事務局)

有り難うございました。「多摩の物語」とは、民話の掘り起こしのことで、現場で実地調査を行い、地元の方からお話を聞いたり、図書館や資料館で調べたりした結果を、物語としてまとめることです。この件についてご意見があれば、よろしく願いいたします。

(福本様)

素晴らしい取り組みだと思います。現在、埼玉県秩父地方を中心に、民話や口承伝承等、口伝（口伝えで残されたもの）の掘り起こしが進んでいます。東京都は負けています。

(事務局)

有り難うございました。この件については、進めていくということでよろしいでしょうか。(拍手)では、渡邊部会長、よろしく願いいたします。

(渡邊部会長)

「桜守学校」の今後の方向性について、事務局より説明してください。

(事務局)

「桜守学校」については、平成24年度の3月に、第1回目を小金井市の都立小金井公園で開催し、本日ご出席いただいている多摩森林科学園の吉丸園長ほか、樹木医さんと地元の桜守さんにご講義いただき、その後公園内をガイドしていただきました。今後の方向性を相談するため、先日、小金井公園に行き、第2回目も実施するという

ことで合意がなされました。小金井市さんは、この8月に行政会員として入会されたので、第1回目の“後援”から、第2回目は“共催”という立場でご協力いただく方向で、相談を始めたところです。第2回目は、小金井公園に加えて、多摩森林科学園でも「桜守学校」を開催できればと考えており、吉丸園長には既にご相談をさせていただいております。多摩森林科学園では、毎年春に桜のウォーキング・イベントを開催しており、大谷桜守がガイド役を務めていらっしゃいますが、そのイベントの中に「桜守学校」を盛り込もうと考えております。この件につきまして、吉丸園長から一言よろしく願いいたします。

(吉丸様)

今年の3月に、小金井公園内で、30名の参加者の前でお話をさせていただきました。この「桜守学校」は、初めに「座学」として桜に関する知識を習得していただき、その後実際に桜を見て歩いていただくという、単なる「お花見」だけではない、非常に良いイベントだと思っています。私どもの多摩森林科学園では、先ほどご説明があったように、毎年、大谷桜守と一緒に歩く桜のウォーキング・イベントを開催していますが、そのイベントの冒頭で、桜に関するレクチャーができれば良いのではないかと思います。ご協力させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

ただいまお話がありました通り、春のウォーキング・イベントは、大谷桜守にガイド役をお願いしております。大谷桜守、「桜守学校」につきましてご意見があればよろしく願いいたします。

(大谷様)

私は、小学生、中学生、高校生を対象とした桜守の授業を行っており、国立市では年間3,000人に教えています。桜をきっかけに自分たちの街を好きになってほしい、環境に関心を持ってほしいと思っております。「桜守学校」というと、春だけだと思われがちですが、色々な季節に桜を想う気持ちを育ていただければ、夢の桜街道に繋がっていくと思っておりますので、大人の方だけではなく、子どもたちを対象にしたものも検討していただければ嬉しく思います。

(事務局)

有り難うございました。続きまして、近畿日本ツーリストの馬場様、ご意見はございましたらお願いいたします。

(馬場様)

私は、毎回部会に出席させていただいておりますが、実際のイベントには参加したことがございません。そのため、「桜守学校」や「多摩の物語」、「カヤック体験教室」、「多摩川の清掃」に関してもピンとこないので、来年度は会議に出席するだけでなく、ぜひ実際に仲間を誘ってイベントに参加して、体験してみたいと思います。そうでないと、本当の感想や意見が述べられないと、今日つくづく感じました。

(事務局)

素晴らしいご意見有り難うございました。他にご意見はありますか。ないようでしたら、「桜守学校」に関しては、小金井公園に加えて、吉丸園長や大谷桜守にご協力を仰ぎながら進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。(拍手)有り難うございました。

桜関連で、一点ご紹介があります。フォーラム会員で(株)はとバスの江沢副部長さんが、「はとバス ヒットの法則23」という本を出版されました。この本の中で、「多摩川夢の桜街道」七十五番札所・龍珠院や、当フォーラムについて紹介されていますので、その部分をコピーして皆さんにお配りいたしました。併せて、「多摩川夢の桜街道」のA3マップと携帯マップをお付けしておりますので、身近な方にPRをお願いいたします。

(渡邊部会長)

「炭焼き体験と水辺の交流会」の今後の方向性について、事務局より説明してください。

(事務局)

炭焼き体験と水辺の交流会も今年で第5回を終え、大変人気の高いイベントに成長しておりますが、今後、青梅市との連携を維持しながら、さらに交流事業として上流から中・下流域に発展させていくため、青梅市と他の行政との共催により、開催していく方向で青梅市と調整してまいりました。具体的には、青梅市報に掲載し募集することに加えて、新たに共催する行政の市報にも掲載し、交流事業の幅を広げていきたいと思っております。この点につきまして、ご意見のある方、挙手をお願いします。

(増田様)

先ほどのビデオですと、家族が中心で参加されているようですが、大人単独でも参加できるのでしょうか。

(事務局)

このイベントは、小学生と中学生が対象で、親子での参加も可としています。

(増田様)

環境教育がメインなのでしょうか。

(事務局)

そうです。今は、「川に近づくな」教育のため、子どもたちは川との正しい接し方を学んでいません。大人もそうです。そのため、親子で学んでいただく機会を設けています。具体的には、当フォーラムが所有している炭焼き釜で竹炭を焼く体験、魚のつかみ取り→魚の解体→魚の食事、ボートや飛び込みによる川遊び、ライフジャケットを着用した安全体験学習、紙芝居による環境学習となっています。

(増田様)

炭焼き体験であれば、私もやってみたいと思うのですが。

(事務局)

炭焼きの先生からも、「大人の炭焼き教室もやったらどうか」と言われています。先日、企画はしたのですが、荒天により中止となりました。実は、炭焼き窯が老朽化し、先日新しい窯にリニューアルしたところです。11月16日(土)の美しい多摩川クリーンキャンペーンの日に、初窯の試し焼きを行いますので、もしよろしければお越しください。

毎年このイベントに先生として参加されている山崎副部長、交流事業の幅を広げていくことに関して、何かご意見はございますか。

(山崎副部長)

もう少し参加人数を増やしても大丈夫です。せっかく応募していただいたのに、断らなければならない事態が生まれていますので。さきほどのビデオの中で、お母さんが、「私も生まれて初めてはらわたを取り出した」と言っていたので、大人も一緒に楽しめるイベントは非常に良いと思いますので、機会を増やしてもらいたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。他にご意見はございますか。

(渡邊部会長)

中流、下流ということですが、場所は引き続き今の場所でやるということですね？

(事務局)

炭焼き窯は御岳にしかありませんので、今後も現在の場所を使っていく予定です。今までは青梅市を中心にPRしておりましたが、次回以降は中・下流域でもPRして御岳に来ていただくということです。

(渡邊部会長)

となると、交通手段が大変ではないかと思いますが、その点はどうお考えですか。

(事務局)

青梅市の広報ではすぐに一杯になってしまうでしょうけれども、中・下流域でPRした場合、どれだけ集まるかは未知数です。例えば定員数の5割、もしくは4割または3割を他市の枠とするのかについては、今後、青梅市さんと相談の上進めてまいりたいと思っております。

この件については、今後、交流事業の幅を広げていく方向で進めてよろしいでしょうか。(拍手) 有り難うございました。

(渡邊部会長)

「多摩川子ども環境シンポジウム」の今後の方向性について、事務局より説明してください。

(事務局)

多摩川子ども環境シンポジウムにつきましては、今回で6回目を迎えます。回を重ねるごとに、環境に関する発表だけでなく、歴史や文化に関する発表も増えてきており、発表内容に関しましても幅が広がりつつあります。また、今回から、従来の発表者全員を表彰するやり方に加えて、最優秀賞1組を選出したらどうかとの提案が事務局に寄せられております。この点につきまして、山崎副部会長からご説明をお願いいたします。

(山崎副部会長)

毎年、発表内容が素晴らしい内容に進化してきています。全員同じ賞も悪くはないのですが、頑張った子どもたちにはごほうびをあげても良いのではないかと考えています。その賞を目標に、子どもたちは次年度も頑張るのではないかと考えます。昨日、大田区の調布大塚小学校の生徒たちを連れて多摩川に行き、魚取りをしました。

「今日の体験を、子ども環境シンポジウムで発表してみないか？」と聞いたところ、「ぜひやってみたい」と話していました。もっともっと拡がりを持たせるためにも、また、子どもたちの思い出作りや体験学習、環境教育の学習効果を高めるためにも、そのような手法を用いてはどうかと思います。

(事務局)

有り難うございました。いまお話のありました調布大塚小学校ですが、去年、校長先生に話をしたところ、非常に関心を示されました。もともと環境教育に熱心な学校で、今年も違う学年で発表したいと校長先生からお話をいただいております。続いて、小野木副部長、ご意見がございましたらお願いいたします。

(小野木副部長)

シンポジウムもそうですが、炭焼き体験に関しても、地域を拡げる話が出ていました。私は非常に賛成です。私は多摩川に近い世田谷に住んでおりますが、炭焼きができることを知らない環境にいますので、多摩川流域内で地域を拡げることについては、非常に良いことだと思います。

(事務局)

有り難うございました。他にご意見はございますか。ないようでしたら、第6回目から「最優秀賞」を設ける方向に進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。(拍手) 有り難うございました。

## (2) その他

(事務局)

先ほど席上配布としてお配りしたペーパー、「花粉の少ない森づくり運動展開中」につきまして、東京都農林水産振興財団の金子課長様、ご説明をお願いいたします。

(金子様)

私どもは、平成18年度より、東京都から委託を受け、花粉症発生源対策として、花粉を多く飛ばす樹齢30年以上の杉を伐採し、花粉の少ない杉や広葉樹に植え替える事業を行っており、「募金」「森づくり支援倶楽部」「企業の森」の3本柱で運営しております。私どもは、東京マラソン・チャリティー事業の寄付先団体として、募金やチャリティーランナーを募集しております。東京マラソンの会場で、例えば美しい多摩川フォーラムで枠を作り、会員の誰かが走って、それを皆が応援することで、アピール効果があるのではないかと考えますので、提案させていただきます。また、周囲へのPRもぜひよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。ただいまの件で、ご質問がある方はいらっしゃいますか。

(福本様)

チャリティランナーになりたいとは思いますが、大股で歩くスピードでも参加できますか。

(金子様)

完走は難しいと思いますが、参加するだけでも楽しいと思いますので、ぜひご検討ください。

(福本様)

参加賞は何かもらえるのでしょうか。

(金子様)

完走する、しないに関わらず、私どもから記念品を差し上げたいと思います。

(福本様)

では、チャリティランナーとして参加します。

(金子様)

有り難うございます。もしチャリティランナーの枠をいくつか取ってほしいとか、応援する良い場所を教えてほしい等がございましたら、財団との間に入って調整させていただきますので、お声掛けください。

(事務局)

他にございますか。

(福本様)

小平市に「グリーンロード」があります。42.165kmです。多摩地区におけるオリンピックの施設受け入れならびにパラリンピックまでを考え、2020年までに東京都に整備をしていただければ良いと思います。予算の関係もあると思いますが、施設は多摩地区にもあります。23区だけではありません。

(渡邊部会長)

まだまだ皆さんからご意見はあると思いますが、時間の関係もありますので、今日

はこれで終わりにします。有り難うございました。

## 5. 総括・閉会（部会長）

（渡邊部会長）

今日は、経過報告の後、既存事業の見直しについて9項目があり、皆さんのご意見をお聞きしたところ、反対は無いということでした。一部は今後も検討するという項目もありました。今後、運営委員会または事務局でまとめて進めていくことになりました。それでは、平成25年度第2回教育文化・環境清流合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上